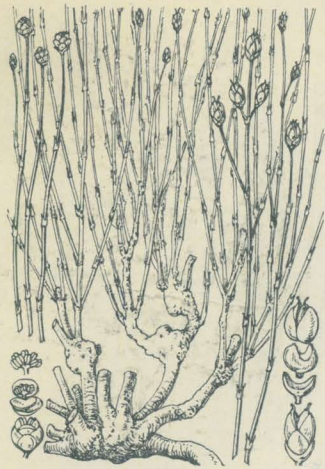


まわう科



まわう (麻黄) Ephedra sinica Stapf.

我邦ニ産セズシテ蒙古地方并ニ支那北疆地ノ砂土ニ自生スル草狀ノ常緑小灌木ニシテ高サ 30-70cm 許アリ。根莖ハ木質肥厚ニシテ屈曲シ、徑 2-3cm 許、長サ 70cm 内外アリテ黄赤褐色ヲ呈シ、上端地面ニ近クシテ上向セル枝ヲ分チ、枝端ヨリ直上セル緑莖ヲ叢出ス。莖ハ細長ニシテ分枝シ稍扁平ニシテ節多ク、莖中ハ其孔極メテ小ク殆ド實スルガ如シ。葉ハ細細ニシテ白質ノ小鱗片狀ヲ成シ莖節ニ對生シテ基部ハ合體シ莖ヲ包圍短鞘ヲ成シ、莖ノ外觀頗ル能クいぬどくさ即チかはらどくさニ類似セルヲ以テ往時々々之レヲ誤認セシコトアリ。雌雄別株。夏日、莖頂又ハ梢枝頂ニ小ナル卵形ノ單性花序ヲ着ケ對生セル數片ノ苞ヲ有シ、雌雄花序各二花ヲ有セリ。雄花ハ苞片二乃至四裂、雄蕊ハ二乃至四本アリテ合生シ黄藥ヲ有ス。雌花ニ在テハ其苞片下部合生シ、裸出卵子ヲ有ス。種子ハ長卵形ノ堅果狀ヲ成シテ黒褐色ヲ呈シ、花序中ニ在テ二顆成熟シ時ニ苞片肉質ト成リテ鮮赤色ヲ呈ス。本種ハ古來藥用植物ノ一ニ算ヘラレ有名ナリ。和名ハ漢名麻黄ノ音ナリ。

第 2687 圖

ねす (杜松)

一名 ねすみさし 古名 むろのき・むろ Juniperus rigida Sieb. et Zucc.

丘陵・淺山ニ在テ多ク陽地ニ生ズル常緑灌木或ハ小喬木、幹高サ 0.5-10m、大ナル者徑 30cm 許ニ及ビ、樹皮ハ赤褐色ニシテ灰色ヲ帯ビ老木ニテハ縦裂ヲ生ジ、枝ハ横出シ老木ニ在テハ其小枝能ク下垂ス。葉ハ三個ツツ輪生シ、刺狀鋭尖形、硬質ニシテ觸ルレバ痛ミヲ感ジ、上面ハ平ニシテ中央ニ一條ノ白色氣孔線アリ下面ハ綠色ニシテ鈍形、其横斷面ハ稍鈍三角形ニシテ維管束ノ下部ニ一個ノ樹脂道アリ。雌雄別株。花ハ前年枝ノ葉腋ニ單立シ、四月ニ開花ス。雄花ハ橢圓形ニシテ長サ凡 4mm、綠色ノ鱗片内ニ二藥胞アリテ黄花粉ヲ吐ク。雌花ハ卵圓形ニシテ厚質綠色ノ三心皮ヨリ成リ其内面ニ各二卵子ヲ藏ス。胚果ハ厚肉質ニシテ球形ヲ成シ、先端ニ三突起アリ、初メハ綠色ナレド後ヲ熟シテ紫黑色ト成リ徑 7-9mm 許アリ、是レ所謂杜松子ニシテ藥用ニ供セラル。和名ねすハねすみさしノ略、ねすみさしハ鼠刺ノ意ニシテ其針葉ハ鼠ノ刺ニ能ク之レヲ禦グニ足レバ斯ク云ヒ、むろ井ニむろのきハ實群れノ木ノ意ナリトスル説ニハ予ハ贊成セズ、松岡靜雄氏ハ此木ノ葉ヲ燒ケケバ異薫ヲ發シ蚊ヲ追フニ適スル故中國ニテハ近世ニ至ルマデ蚊遣リニ用タリむろノ名ハ恐ラク之レヨリ出デシナラント云ヘリ。我邦ニテ樺ノ字ヲむろのきニ充ツルハ非ニシテ樺ハ一河柳ト云ヒ元來ぎよりノコトナリ。

ひのき科



第 2688 圖

はひねす

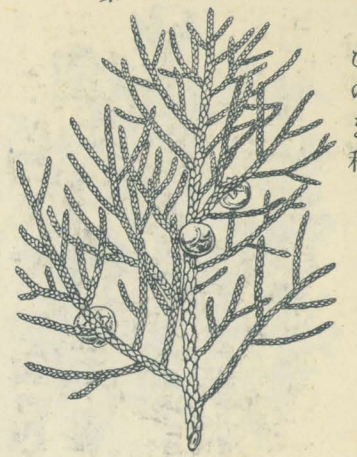
Juniperus conferta Parl. (J. litoralis Maxim.)

海岸砂地ニ生ズル匍匐性ノ常緑灌木ニシテ幹ハ四方ニ枝ヲ分チテ擴ガリ通常大群落ヲ成シテ砂質ヲ蔽フニ至ル。枝ハ淡褐色ヲ呈シ、幹ハ灰黑色ト成リ、葉ハ枝上ニ密集シテ著キ、三個輪生シ、枝極ニ對シテ開出シ、鍼形ニシテ眞直ナレドモ其基部ニ於テハ彎曲シテ稍内方ニ屈シ、剛質ニシテ先端鋭刺ヲ成シ之レニ觸ルレバ甚ダ疼痛ヲ感ジ、内面ハ稍淺キ縱凹溝ヲ成シテ白色ノ氣孔條アリ。雌雄異株。花ハ前年枝ニ單立シ、四月ノ候ニ開花ス。雄花ハ腋出ノ短枝上ニ着生シ橢圓形ニシテ褐色ヲ呈シ、鱗片内ニ二藥胞アリテ黄色花粉ヲ吐出ス。雌花ハ卵圓形ニシテ綠色、厚質ノ三心皮ヨリ成リ其内面ニ各二卵子アリ。胚果ハ漿果狀ニシテ球形ヲ呈シ紫黑色ニシテ稍白霜ヲ帯ビ徑 6-13mm アリ。はひねすノ叢中ニ於テ本品トねすトノ間種ト認ムベキ者アリテ其幹斜上シ高サ時ニ 70cm 許ニ達シ葉ハ殆ドねすト區別スベカラズ、之レヲおきあがりねす (var. pseudorigida Makino = J. pseudorigida Makino) ト稱ス。和名ハ這ねすニシテ其幹枝匍匐スレバ云フ。

ひのき科



ひのき科



いぶき (檜)

一名 いぶきびやくしん・かまくらいぶき Juniperus chinensis L.

海島・陸地海岸或ハ時ニ山上ニ自生アレドモ多クハ人家庭園若クハ社寺等ニ栽植シ或ハ盆栽トシテ觀賞セラル常緑小樹或ハ喬木ニシテ、其小ナル者ハ低矮ニシテ時ニ匍匐スレドモ其大ナル者ハ幹立チテ高サ 10m、徑 70cm 許ニ達シテ分枝多ク全體頗ル鬱鬱タリ、樹皮ハ赤褐色ニシテ幹腐ハ縦裂ス。葉ニ二型アリ、一ハ小鱗片狀ニシテ交互對生シ枝上ニ密着シテ細圓紐ノ如シ、是レ普通形ナリ、他ハすき葉ノ如キ長針狀ニシテ長サ 5-10mm 有シ、交互對生スルカ或ハ三個輪生ス、是レ原始形ニシテ多ク下部ノ枝ニ出現ス。雌雄異株。花ハ四月ニ開キ小形ニシテ鱗片葉ノ小枝ニ着キ、短小梗ヲ有シ、雄花ハ橢圓形ヲ成シ鱗片内ニ二藥胞ヲ有シテ黄花粉ヲ吐出シ、雌花ハ紫綠色ノ厚質鱗片ヲ具フ。胚果ハ癒合セル三種鱗ヨリ成リ稍肉質ニシテ球形ヲ成シ熟スレバ紫黑色ト成リ、種子ハ橢圓形ニシテ褐色ナリ。園藝的變種多ク、所謂しんぱく(眞柏ノ意ニシテ美稱ナリ)ハ種中ノ一品ナリ、又かひづかいぶきハ能ク生籬ニ用ケラレ其枝通常螺旋スル傾向ヲ有シ、びやくしん一名びやくし一名たちびやくしん一名たちびやくし一名すきびやくしんハ直立セル樹上ニ針狀葉ノミヲ有スル品ナリ。和名伊吹ハ伊吹檜ノ略ニシテ伊吹ハ近江伊吹山ニ在リシ故謂フ乎、柏檜ハ柏子ノ音便乎ト謂ハル、鎌倉伊吹ハ相州鎌倉ノ名産ナルヲ以テ云フト謂ヘリ。

第 2690 圖

はひびやくしん (矮檜)

一名 はひびやくしん・そなれ Juniperus chinensis L.

var. procumbens Endl. (=J. procumbens Sieb.; J. japonica Hort.)

對馬等ニ自生ヲ見ルト謂ハルレド、普通ニハ庭園ニ栽植セラレ之レヲ自生ニ放置スレバ漸次ニ擴ガリテ廣キ地面ヲ蔽フニ至ル。幹枝匍匐シテ盛ンニ生長スル常緑灌木ニシテ綠葉極メテ繁密ナリ。葉ハ針形ニシテ三輪生ヲ成スヲ常トシ、葉ハ線狀披針形ヲ成シテ鋭尖頭ヲ有シ質硬ク、長サ 6-8mm 許アリ。未ダ果實ヲ見ズ。和名這柏檜ハ幹枝横ニ伸ビテ偃臥セルヨリ云フ、又這柏子トモ云フ、そなれハ磯馴ニシテ海岸ニ馴レテ繁茂スル意ニテ斯ク云フ。

ひのき科



第 2691 圖

みやまびやくしん

Juniperus chinensis L. var. Sargentii Henry. (=J. chinensis L. var. procumbens Takeda; J. Sargentii Takeda.)

中部ノ高山岩壁或ハ石礫地ニ生ズル常緑灌木ニシテ幹ハ伏シテ生長シ屈曲スル者多ク、枝葉稠密ニ繁茂シテ低平席ノ如ク、高サ殆ド 50cm ニ達セズ。枝ハ灰褐色ヲ帯ビ又銅色ヲ呈スルコトアリテ皮ハ片々ニ剝離ス。葉ハ霜綠色ヲ呈シ、いぶきびやくしんと同様二型アリテ下枝ノ者ハ鍼形ニシテ長サ 4-5mm、先端刺狀ニ尖リ枝ヨリ開出シテ一見すき葉ノ觀アレド上枝上ノ者ハいぶきノ觀アリテ菱形ヲ成シ短小ニシテ鈍端、枝ヲ通ジテ密ニ着生シ圓紐狀ヲ成ス。四五月ノ候ニ開花ス。花ハ小形。雄花ハ細枝端ニ着テ橢圓形ヲ成シ、黄花粉ヲ吐キ、雌花ハ有柄ニシテ厚鱗片ヲ有シ紫綠色ナリ。胚果ハ球形ナル漿果狀ヲ成シ、徑 6-8mm 許、熟シテ碧黑色ヲ呈ス。和名深山柏檜ハ高山地帯ニ生ズルヨリ云フ。

ひのき科

